

【解答・解説】

▼ ドルコスト平均法（毎期 100 万円 × 5 期）

期	単価	投資額	口数
第 1 期	1,250 円	1,000,000 円	800 口 ($=1,000,000 \div 1,250$)
第 2 期	1,000 円	1,000,000 円	1,000 口 ($=1,000,000 \div 1,000$)
第 3 期	500 円	1,000,000 円	2,000 口 ($=1,000,000 \div 500$)
第 4 期	2,500 円	1,000,000 円	400 口 ($=1,000,000 \div 2,500$)
第 5 期	1,250 円	1,000,000 円	800 口 ($=1,000,000 \div 1,250$)

合計投資額：5,000,000 円

合計口数： $800 + 1,000 + 2,000 + 400 + 800 = 5,000$ 口

平均購入単価： $5,000,000 \div 5,000 = 1,000$ 円

評価額（1,250 円 × 5,000 口）：6,250,000 円

▼ 一括投資（第 1 期に 5,000,000 円、単価 1,250 円）

$5,000,000 \div 1,250 = 4,000$ 口

評価額： $4,000$ 口 × 1,250 円 = 5,000,000 円

【比較まとめ】

項目	ドルコスト平均法	一括投資
平均購入単価	1,000 円	1,250 円
購入口数	5,000 口	4,000 口
評価額（時価）	6,250,000 円	5,000,000 円

判断：ドルコスト平均法の方が評価額は大きい ($6,250,000$ 円 $>$ $5,000,000$ 円)

正解：1)

ドルコスト平均法による
 平均購入単価 購入口数 ドルコスト平均法と一括投資法の比較判断
 ① 1,000 円 ② 5,000 口 ③ ドルコスト平均法の方が評価額は大きい